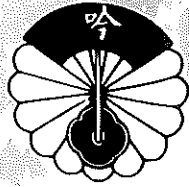


Supported by

 THE NIPPON
 FOUNDATION

令和三年度



全国剣詩舞コンクール決勝大会

来場歓迎・入場無料

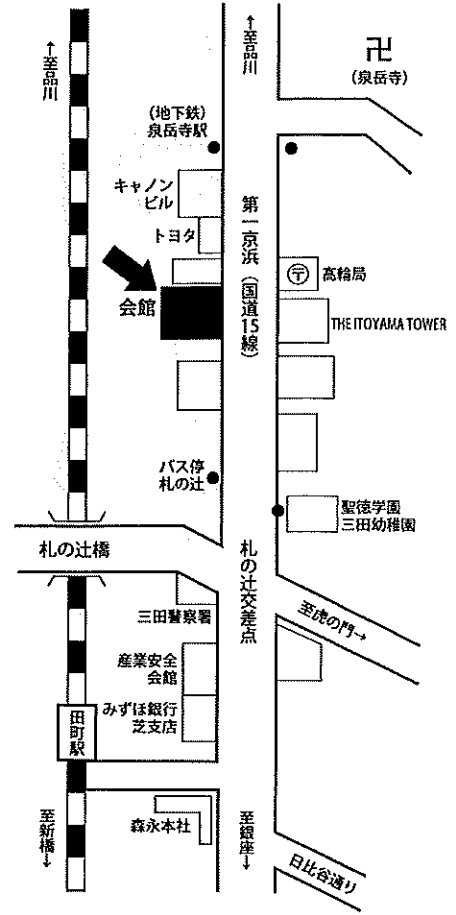
後援

N
M
K

- ◎とき 令和3年11月27日(土)
午前9時開場・9時30分開始
- ◎ところ 笹川記念会館国際ホール(裏表紙参照)

主催

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会



笹川記念会館

〒108-0073 東京都港区三田三丁目12番12号 TEL.03(3454)5062
 (最寄駅) ●JR田町駅(三田口)より徒歩約10分
 ●地下鉄都営浅草線、泉岳寺駅より徒歩約7分

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10虎ノ門35森ビル7階
 電話 (03) 6721-5950 (代表)
 FAX (03) 6721-5960

大会次第

- 一、開会の辞
 - 一、国歌斉唱
 - 一、財団会詩合吟
 - 一、財団代表挨拶
 - 一、競演実施要項説明
 - 一、審査委員紹介
 - 一、競演 剣舞 一般三部
 - 一、競演 剣舞 一般二部
 - 一、競演 詩舞 一般二部
 - 一、競演 剣舞 一般一部
 - 一、詩舞 一般三部・剣舞 一般二部
 - 一、競演 詩舞 一般一部
 - 一、審査結果発表並びに入賞者表彰
 - 一、閉会の辞
- (注意) 一、役員集合 午前八時三〇分
 二、審査委員会議 午前九時〇〇分
 三、出演者集合 午前九時〇〇分
- 時間厳守



(公財) 日本吟剣詩舞振興会

会長 沼崎 富

令和3年度全国剣詩舞コンクール
 決勝大会開催にあたって

価値ある伝統芸道の祭典

公益財団法人日本吟剣詩舞振興会主催令和3年度全国剣詩舞コンクール決勝大会が、本日、ここに盛大に開催される運びとなりましたこと、関係者共々深く喜びとすることとあります。本大会のために、早朝からご来場いただきました皆さまに対して深く敬意を表しますとともに、いろいろと準備のために奉仕してくださいました大会役員のかたがたに対しても深く感謝申し上げます。

剣詩舞は、吟詠の調べに合わせて詩歌のこころを心技を

財団法人日本吟剣詩舞振興会会詩

世川良一 作

朝に吟む夕に舞うて 心身と錬り
 礼節持し来て互に真と養ひ
 世界は一次 皆我が友
 願わくは斯道と興して人倫と正すべし

世川 錦江 書

もって表現するものであり、わが国の伝統芸道の中でも、今日までの民族精神の形成に大きな役割を果たしてきたばかりでなく、これからのわが国の精神文化の高揚においても大きな期待をかけられている芸道であります。

当財団の主催する剣詩舞コンクールは、この剣詩舞道の本質を追究し、併せて芸道としての向上を図るとともに、斯道のよりいっそうの振興と普及を目的として、全国的レベルで行なうものであります。

出場者の皆さまには、日ごろの精進の成果を十分に発揮されますことを希望いたしますとともに、ご来場の皆さまにおかれましては、吟剣詩舞道の今日像を正しく理解され、ますます斯道に親しまれますようお願い申し上げます。

最後に、皆さまのご健康を祈念して私の挨拶といたします。

令和三年度全国剣詩舞コンクール決勝大会役員

大会会長 沼崎 富
大会副会長 多田 正稔
徳田 寿風

大会実行委員 池内 賢二 大田 直樹 山田 静将
吉田 魁桜 河野 鶴聲 大本 翠山
大伊達不朽 藤上 翔山 早淵 鯉将
安田 水鈴 入倉 昭星 藤本 誠堂
清水 錦洲 鈴木 吟亮 田中 国臣
遠藤 晃楓

☆審査委員 多田 正稔
内田 寿子

審査委員長 青柳芳寿朗 黒田 秀月 山本 兼正
特別審査委員 田村天聖月 藤上 翔山 菊川八千穂
審査委員 早淵 鯉将 入倉 昭星 杉浦 英容

☆大会特別顧問

山岡 哲山 小幡 神叡 坂本 徹星 福永 瀧霊
藤原 撰楠 矢萩 鳳祥 武田 禧洲 益中 鵬山
前島 昊龍 松岡 萌洲 野中 秀鳳 八代 輝霊
廣重 光風 日置 彩峰 杉浦 容楓 増田 鵬泉
小野光翠扇 山路 泰洲 横山 寿城 山内 正風
向山 侑吟 山本 賀陽 多田 正満 八文字 剛洲
安永 江悠 青柳芳寿朗 田中 岳藤 山口 花雫
横山 精真

☆大会参与

山本 兼正 黒田 秀月 熊木 雪洲 後藤 月戈
加藤 紫昇 宮島 神鳳 奥村 精曄 齋木 彩染
木村 風鶴 鈴木 洲玉 星野 洲虹 佐々木 翠鵬
池田 嶺煌 上久保雪女 石井 桃苑 田中 竜真
松永 悠楓 榊原 静芳 矢澤 鳳慶 鈴木 凱山

〈県連代表〉

石川 春洋 横田 岳理 星野 紫虹 志塚 心将
佐々木朝鵬 菱谷 彩佑 小林 北鵬 梶 風映
勝部 吼嶺 梅澤 昌峰 阿部 吟鳳 中澤 春誠
斐 経風 奥脇 嶽津 薦田 南尚 白男川 冽風
高橋 瑞祥 麻生 契春 三橋 吟煌 毛塚 静精
寺嶋 城靖 栗野 電曄 鈴木 海洲 久保田 正峰
小林 岳章 渡 精華 寺山 天洲 山下 神燈
小峯 昊苑 丹治 独風 石井 誠紀 室橋 谿月
長谷部 紫帛

澤石 峯洲 梅田 錦翠 阿部 清心 奇野 岳城
寺嶋 城靖 立身 岳元 館岡 奥鵬 宮川 紫朋
栗野 電曄 高橋 瑞祥 一 條 岳皇 黒田 秀月
齋藤 心晃 鈴木 海洲 麩 経風 清水 錦洲
毛塚 静精 篠崎 興國 小松 獅剣 飯田 報信
入倉 昭星 白井 寛洲 松澤 天楓 北瀬 岳櫻
渡邊 皇洲 後藤 娟桜 堀口 孝心 鉤 正賀
山田 静将 山口 華雫 松谷 國章 高木 哲水
古川 壽泉 藤上 翔山 楠部 齋山

◎総務委員長 毛塚 静精 魚住 仲水 永田 春濤
◎資材管理委員長 相田 華鐘(医務担当) 八幡 景洲
◎庶務委員長 黒田 誠敬 荒井 剛嶺
◎詩舞受付委員長 鈴木 洵風 加藤 契毬
◎剣舞受付委員長 小池 洵風 亀井 麗岳
◎剣舞受付委員長 後藤 月戈 松村 伯玲
◎剣舞受付委員長 斎木 彩染 石川 明戈 染谷 優戈
◎剣舞受付委員長 山下 神燈 木村 風鶴 黒柳 誠心
岡 眺蘭 小谷野 煌弘

(6) 出場者演舞のルール

I 出場順……申込後、厳正公平な抽選で決定したプログラム順とする。変更は特別の事由に基づき、大会会長が認めない限り許されない。ただし、それも出場部門の競演実施中に限られる。

II 演舞吟題……指定吟題の中からあらかじめ届け出たものとし、予選、決選とも同じ演舞吟題とする。なお、その吟は財団法人の「令和三年度吟剣詩舞道吟詠集」CDを使用する。

III 衣裳と持ち道具
剣舞……①衣裳は紋付など和服、または稽古衣、はかま着用とし、なるべく簡素化したものとする。②足袋及びたすきの着用は自由とする。③持ち道具は、武具及び扇子などとする。

詩舞……①衣裳は和服、はかま着用とし、なるべく簡素化したものとする。②持ち道具は自由とし、なるべく簡素化したものとする。③扇子の形状、色彩などは自由とする。

以上の原則に準じている場合は減点の対象としない。ただし、原則を著しく逸脱している場合は、減点の対象とする。

IV 舞台照明……地あかりのみとし、バックはホリゾン（白色）使用を原則とする。

V 演舞の要領……①司会者が出場者の番号、氏名、演題を紹介、一呼吸おいてCDが流される。②出場は上手、下手、板付いずれでもよい。また、そのタイミングも司会者の出場紹介が始まってからならいつでもよい。③振り付けは前奏、後奏を含めた全体でもよいし、詩文のみでもよい。演舞終了時、舞台にある振り付けの場合でも立礼は必要としない。なお、採点の対象は、原則として舞台出場から退場までの間の出場者の演技及び立居振舞とする。

(7) コンクールの審査要領
I 審査基準は財団の「剣詩舞コンクール審査規定」を適用する。
II 審査の基本方針は、剣舞・詩舞は吟詠の調べに合わせて詩歌のこころを体技をもって表現する芸道である。斯道の本質を踏まえ、芸としての向上を図るうえで不可欠なものは詩歌のこころを正しく理解する素養と、その技術的表現力、芸術的表現力である。この前提に立って審査の項目及び配点を、次のように設定する。

〈少年の部〉

- 一位 会長賞・金メダル・NHK杯
- 二位 会長賞・銀メダル
- 三位 会長賞・銅メダル
- 四位～五位 会長賞

〈青年の部〉

- 一位 会長賞・金メダル・NHK杯
- 二位 会長賞・銀メダル
- 三位 会長賞・銅メダル
- 四位～五位 会長賞

〈一般一部〉

- 一位 会長賞・金メダル・民放杯
- 二位 会長賞・銀メダル
- 三位 会長賞・銅メダル
- 四位～五位 会長賞

〈一般二部〉

- 一位 会長賞・金メダル・民放杯
- 二位 会長賞・銀メダル

A 技術的表現力（50点配点）

- ① 基礎技量……30点
 - ② 錬磨度……20点
- B 芸術的表現力（50点配点）
- ① 詩心表現力……30点
 - ② 舞台表現……20点

(8) 審査除外（失格）

I 遅刻、指定CD外演舞、演舞放棄、その他審査委員長が失格と認めた場合。

(9) 全国大会の出場者数と表彰

I 9頁別表の通り。
II 出場者には参加賞を授与する。
III 各部一位入賞者は第五十二回全国吟剣詩舞道大会に於て、全国剣詩舞コンクール優勝者として出演する。

IV 剣舞、詩舞各部に次の賞を贈る。

- 〈幼年の部〉
- 一位 会長賞・金メダル・NHK杯
- 二位 会長賞・銀メダル
- 三位 会長賞・銅メダル

三位 会長賞・銅メダル
四位～五位 会長賞

また、各部一位入賞者（優勝者）へ授与する会長杯は持ち回りとする。

〈一般三部〉

一位 会長賞・金メダル・民放杯
二位 会長賞・銀メダル
三位 会長賞・銅メダル

(10) 「コンクール」進行中の拍手、声援、私語雑談及び大会本部許可の報道関係者並びに記録班以外の会場内での写真撮影、ビデオ等の録画は禁止する。

(11) 本コンクールにおいて財団が撮影した写真や映像については、財団が発行する雑誌、公式ホームページ及びテレビ放映などにて使用する場合があります。

令和三年度全国剣詩舞及び群舞コンクール指定吟題

☆剣舞

（幼年・少年の部）

- 1 九月十三夜陣中の作 上杉 謙信
- 2 将に遊んとして壁に撃 釈 月性
- 3 日本刀 大鳥 圭介

（青年・一般の部）

- 1 稲養懐古 太宰 春台
- 2 八幡公 頼 山陽
- 3 易水送別 駱 賓王
- 4 剣客 賈 島
- 5 和歌・身はたとい 吉田 松陰

☆詩舞

（幼年・少年の部）

- 1 桜祠に遊ぶ 広瀬 旭荘
- 2 山行 杜 牧
- 3 和歌・ほろほとと 行 基

（青年・一般の部）

- 1 弘道館に梅花を賞す 徳川 景山
- 2 立山を望む 国分 青崖
- 3 春月 菅 焦
- 4 廬山の瀑布を望む 李 白
- 5 和歌・ほのぼのと 詠み人知らず

（群舞）

- 1 彰義隊 向山 黄村
- 2 逸題 橋本 左内
- 3 懐古 釈 萬庵

（群舞）

- 1 一乗寺に遊ぶ 伊藤 仁斎
- 2 筑前城下の作 広瀬 淡窓
- 3 月夜荒城の曲を聞く 水野 豊州

令和三年度全国剣詩舞コンクール決勝大会出場者数

地区	資格区分	幼年	少年	青年	一般一部	一般二部	一般三部	合計
		11歳まで	12～17歳まで	18～34歳まで	35～54歳まで	55～69歳まで	70歳以上	
北海道	剣舞	0	0	0	0	0	0	0
	詩舞	0	0	0	0	0	0	0
東北	剣舞	0	1	0	0	1	0	2
	詩舞	1	0	1	1	0	1	4
東日本	剣舞	2	1	3	2	1	1	10
	詩舞	1	1	2	2	2	2	10
中部	剣舞	1	2	3	3	2	1	12
	詩舞	1	2	3	3	2	1	12
近畿	剣舞	1	2	2	2	2	1	10
	詩舞	1	2	2	3	3	1	12
中国	剣舞	1	1	1	2	1	1	7
	詩舞	1	2	1	2	3	1	10
四国	剣舞	1	1	1	1	1	1	6
	詩舞	1	1	1	1	3	1	8
九州	剣舞	1	1	2	2	2	1	9
	詩舞	1	2	2	1	3	1	10
計	剣舞	7	9	12	12	10	6	56
	詩舞	7	10	12	13	16	8	66
入賞	剣舞	3位まで	5位まで	5位まで	5位まで	5位まで	3位まで	122
	詩舞	3位まで	5位まで	5位まで	5位まで	5位まで	3位まで	

※「審査結果発表並びに入賞者表彰時の留意事項」
一般一部・二部・三部の審査結果は、昼食休憩終了後の幼年・少年の部の審査開始前に発表されます。
なお、本年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、審査結果発表時に出場者本人が不在の場合も失格とはしません。
また、表彰式典において壇上で表彰するのは各部の優勝者のみとし、出演衣裳でなくても構いません。

◎コンクール出場者氏名

「剣舞」一般三部

出演順	氏名	推薦	演題	成績
5	高津悦子	東京	易水送別	
4	谷野光弘	岡山	易水送別	
3	鈴木文枝	愛知	稲藁懐古	
2	中瀬古真一郎	大阪	易水送別	
1	津村恵子	長崎	易水送別	

「詩舞」一般三部

12	森川由美子	兵庫	和歌・ほのぼのと	
11	金屋俊枝	広島	春月	
10	伊藤トモエ	愛知	春月	
9	中山みさを	東京	和歌・ほのぼのと	
8	山田幸代	東京	和歌・ほのぼのと	
7	田中トミコ	愛媛	春月	

6	岡本暁一	愛媛	剣客	
---	------	----	----	--

「剣舞」一般二部

19	大久保昌良	愛知	和歌・身はたとひ	
18	高田一也	新潟	剣客	
17	坂上晃	兵庫	易水送別	
16	近藤真智子	愛媛	易水送別	
15	森田みたか	兵庫	剣客	

14	隈部礼子	熊本	立山を望む	
13	岩城シツエ	福島	廬山の瀑布を望む	

「詩舞」一般二部

24	櫻井悟福	福岡	易水送別	
23	建部司	愛知	八幡公	
22	竹森裕二	広島	和歌・身はたとひ	
21	高根沢敏江	栃木	剣客	
20	中屋美佐子	鹿児島	和歌・身はたとひ	

26	大城戸正美	熊本	立山を望む	
25	佐々木まなみ	京都	春月	

「剣舞」一般一部

40	松永文幸	佐賀	弘道館に梅花を賞す	
39	山内宮子	愛媛	春月	
38	加来貴子	福岡	弘道館に梅花を賞す	
37	牧清美	愛知	廬山の瀑布を望む	
36	黒川和子	愛媛	春月	
35	中野節子	広島	和歌・ほのぼのと	

41	荒谷早智子	愛知	易水送別	
----	-------	----	------	--

71	70	69	68	67	66
敷津才蔵	齊藤袖璃	中山創司	樞山粹生	塙寛介	吉田哲基
大分	兵庫	岡山	東京	愛知	徳島
九月十三夜 陣中の作	將に東遊せんと して壁に題す	九月十三夜 陣中の作	將に東遊せんと して壁に題す	將に東遊せんと して壁に題す	九月十三夜 陣中の作

「剣舞」幼年の部

65
松山知子
岡山
弘道館に 梅花を賞す

78	77	76	75	74	73
池田悠希	若松柚希	村田蘭	畑本彩結	水口葉月	玉熊紗朱
福岡	京都	福島	岡山	愛媛	茨城
和歌・ ほろほると	桜祠に遊ぶ	桜祠に遊ぶ	桜祠に遊ぶ	桜祠に遊ぶ	桜祠に遊ぶ

「詩舞」幼年の部

72
高橋太智
群馬
日本刀

49	48	47	46	45	44	43	42
根岸友美	吉田郁夫	高橋博之	坪田里美	中田加奈子	石田泰範	山田貴己	木村佳奈
栃木	徳島	群馬	愛知	愛知	大分	大分	兵庫
易水送別	八幡公	稲叢懐古	稲叢懐古	劍客	劍客	八幡公	劍客

「詩舞」一般一部

56	55	54	53
荒崎春奈	友井川真佐美	鈴木宏実	林亮志
神奈川	兵庫	愛知	愛媛
和歌・ ほのぼのと	春月	春月	立山を望む

52	51	50
藤島永治	谷野善則	大津知紀
岡山	岡山	兵庫
稲叢懐古	易水送別	八幡公

85	84	83	82	81	80
友井川慧照	山田明穂	神田蓉	戸田宙希	熊谷朋也	堀真悠子
兵庫	大分	東京	滋賀	宮城	愛知
九月十三夜 陣中の作	將に東遊せんと して壁に題す	九月十三夜 陣中の作	將に東遊せんと して壁に題す	日本刀	九月十三夜 陣中の作

「剣舞」少年の部

79
深井萌衣
岐阜
山行

64	63	62	61	60	59	58	57
永戸智子	菅富士子	吉田訓子	入倉仁美	原步	武井志保子	佐藤園子	伊藤修司
京都	兵庫	熊本	愛知	岡山	栃木	宮城	愛知
和歌・ ほのぼのと	春月	立山を望む	春月	弘道館に 梅花を賞す	立山を望む	立山を望む	廬山の瀑布を 望む

114	113	112	111
柴田 讓愛知	木室奈津 福岡	金子杏衣宮城 立山を望む	入倉真之将愛知 廬山の瀑布を望む
	廬山の瀑布を望む	弘道館に梅花を賞す	

「詩舞」青年の部

110	109	108
上岡雅治三重 易水送別	竹内彩夏千葉 稲叢懐古	上岡隆生三重 八幡公

122	121	120	119	118	117	116	115
田村明以子香川 廬山の瀑布を望む	松本文兵衛春月	若本未知恵広島 廬山の瀑布を望む	野澤美裕東京 立山を望む	五月女智仁栃木 弘道館に梅花を賞す	花田真理愛知 廬山の瀑布を望む	増井章高兵庫 廬山の瀑布を望む	永光美佳福岡 弘道館に梅花を賞す

92	91	90	89
大本愛莉京都山行	西浦輝愛知 和歌・ほろほろと	篠原恵満奈徳島 桜祠に遊ぶ	吉田美陽福岡山行

「詩舞」少年の部

88	87	86
吉田陸人徳島 日本刀	柴本佳乃愛愛知 九月十三夜 陣中の作	安藤翔岡山 九月十三夜 陣中の作

99	98	97	96	95	94	93
原光希兵庫 易水送別	服部涼岡山 桜祠に遊ぶ	森凜華愛知 桜祠に遊ぶ	日野満利花福岡 桜祠に遊ぶ	清藤優美埼玉山行	田中優季岡山 桜祠に遊ぶ	永井穂香兵庫 桜祠に遊ぶ

「剣舞」青年の部

107	106	105	104	103	102	101	100
永田大地福岡 和歌・身はたとひ	友井川友兵庫 剣客	衛藤優美福岡 和歌・身はたとひ	杭田雷威岡山 稲叢懐古	高橋宏徳徳島 八幡公	多嘉良銀太東京 剣客	松坂界良群馬 稲叢懐古	黒田咲穂愛知 易水送別

全国剣詩舞コンクール決勝大会優勝者一覧表

昭和五十三年度(第一回)	昭和五十四年度(第二回)	昭和五十五年度(第三回)	昭和五十六年度(第四回)	昭和五十七年度(第五回)	昭和五十八年度(第六回)	昭和五十九年度(第七回)	昭和六十年度(第八回)	昭和六十一年度(第九回)	昭和六十二年度(第十回)
・剣舞の部 少年の部 城所 紀彰(愛知) ⊗ 青年の部 小野口富子(栃木) ⊗ 一般一部 林 博子(愛媛) ⊗ 一般二部 遠藤智恵子(東京) ⊗ ・詩舞の部 少年の部 山口さおり(茨城) ⊗ 青年の部 市木 優子(東京) ⊗ 一般一部 原 真知子(兵庫) ⊗ 一般二部 中島寿美恵(東京) ⊗	・剣舞の部 少年の部 原 啓太朗(兵庫) ⊗ 青年の部 母利奈生美(兵庫) ⊗ 一般一部 天野 福子(東京) ⊗ 一般二部 小松 和恵(高知) ⊗ ・詩舞の部 少年の部 藤上 桂子(岡山) ⊗ 青年の部 安井 智春(岐阜) ⊗ 一般一部 石川具美子(愛知) ⊗ 一般二部 千房シヅ子(大阪) ⊗	・剣舞の部 少年の部 大津 知紀(兵庫) ⊗ 青年の部 大野多久美(大阪) ⊗ 一般一部 町田 智恵(東京) ⊗ 一般二部 金井 正光(大阪) ⊗ ・詩舞の部 少年の部 杉浦 裕美(愛知) ⊗ 青年の部 菊川 植恵(北海道) ⊗ 一般一部 斎藤 守 宇燕(愛知) ⊗ 一般二部 四万 千代子(東京) ⊗	・剣舞の部 少年の部 原 弦太朗(兵庫) ⊗ 青年の部 城所 紀彰(愛知) ⊗ 一般一部 八木 保博(兵庫) ⊗ 一般二部 清原 良二(大阪) ⊗ ・詩舞の部 少年の部 小枝 由貴(京都) ⊗ 青年の部 米倉 啓子(兵庫) ⊗ 一般一部 松本 栄子(大阪) ⊗ 一般二部 高井トヲ子(岐阜) ⊗	・剣舞の部 少年の部 小島 一勝(京都) ⊗ 青年の部 柴田 裕弘(兵庫) ⊗ 一般一部 小山 博子(兵庫) ⊗ 一般二部 高橋 光江(徳島) ⊗ ・詩舞の部 少年の部 池野 映子(大阪) ⊗ 青年の部 藤上 桂子(岡山) ⊗ 一般一部 原 京子(兵庫) ⊗ 一般二部 中神よし子(愛知) ⊗	・剣舞の部 少年の部 安藤 祐嗣(愛知) ⊗ 青年の部 小野 浩子(千葉) ⊗ 一般一部 小野口富子(栃木) ⊗ 一般二部 須藤 初江(徳島) ⊗ ・詩舞の部 少年の部 横山奈津子(富崎) ⊗ 青年の部 芝山 陽子(三重) ⊗ 一般一部 山本 演志(岐阜) ⊗ 一般二部 安部 匡弘(東京) ⊗	・剣舞の部 少年の部 安藤 由記(愛知) ⊗ 青年の部 高井 博代(兵庫) ⊗ 一般一部 小野 尊由(兵庫) ⊗ 一般二部 多田美美子(大阪) ⊗ ・詩舞の部 少年の部 魚井 秀明(愛知) ⊗ 青年の部 石原 明子(兵庫) ⊗ 一般一部 大持恵美子(兵庫) ⊗ 一般二部 伊東裕美子(東京) ⊗	・剣舞の部 少年の部 松島 一夫(福岡) ⊗ 青年の部 加司 和博(奈良) ⊗ 一般一部 本郷千恵子(山梨) ⊗ 一般二部 中神よし子(愛知) ⊗ ・詩舞の部 少年の部 魚井 美乃(愛知) ⊗ 青年の部 杉浦 裕美(愛知) ⊗ 一般一部 杉田 栄子(大阪) ⊗ 一般二部 森 敏子(岐阜) ⊗	・剣舞の部 少年の部 西邑 晃一(大阪) ⊗ 青年の部 小枝 由貴(京都) ⊗ 青年の部 朝野 公明(兵庫) ⊗ 一般一部 鈴木 敏子(愛知) ⊗ 一般二部 安部 匡弘(東京) ⊗ ・詩舞の部 少年の部 大岡 史帆(愛知) ⊗ 青年の部 安藤 由記(愛知) ⊗ 青年の部 斎藤 和美(山梨) ⊗ 一般一部 小山 博子(兵庫) ⊗ 一般二部 藤井 葵子(兵庫) ⊗	・剣舞の部 少年の部 熊谷 公江(愛知) ⊗ 少年の部 岡 千代志(福岡) ⊗ 青年の部 林 観照(東京) ⊗ 一般一部 広田 光次(愛知) ⊗ 一般二部 山田 光雄(福岡) ⊗ ・詩舞の部 少年の部 山本 智美(愛知) ⊗ 少年の部 大日方里美(愛知) ⊗ 青年の部 城所 紀彰(愛知) ⊗ 一般一部 佐治 尚子(京都) ⊗ 一般二部 佐藤田鶴子(福岡) ⊗

予 告

●第五十二回全国吟剣詩舞道大会

▽とき 令和四年五月五日(木・祝)

▽ところ 東京・王子

北とびあ・さくらホール



月刊『吟と舞』ご購入のお願い

月刊誌『吟と舞』は、指導者および一般愛好者の皆さんに不可欠の吟剣詩舞道界の幅広い情報誌として、また、教養誌として発行されています。

購読料は年間五、〇〇〇円(送料込)です。お申し込みは、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会事務局『吟と舞』係あて、購読料を添えてお申し込み下さい。

どなたでも購読できます。どうぞ、お気軽にお申し込み下さい。

昭和六十三年年度(第十二回)

・剣舞の部

幼年の部 西邑 敦夫(大阪)
少年の部 宗 弘樹(兵庫)
青年の部 建部 司(愛知)
一般の部 中川 裕子(佐賀)
一般の部 河合 喜一(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 赤波根智美(山口)
少年の部 大岡 史帆(愛知)
青年の部 大日方里美(愛知)
一般の部 小西 悦子(兵庫)
一般の部 油谷 淳子(東京)

平成元年年度(第十二回)

・剣舞の部

幼年の部 山口 育也(愛知)
少年の部 伊藤 修司(愛知)
青年の部 鈴木 一人(愛知)
一般の部 早瀬 肇(兵庫)
一般の部 滝 吉治(兵庫)

・詩舞の部

幼年の部 長坂 紗織(愛知)
少年の部 山本 智美(愛知)
青年の部 安藤 祐嗣(愛知)
一般の部 柏原 徳子(東京)
一般の部 東嶋 ユキ子(大阪)

平成二年年度(第十三回)

・剣舞の部

幼年の部 淡谷 亮太(愛知)
少年の部 西邑 晃一(大阪)
青年の部 吉岡 淳史(岡山)
一般の部 加川 和博(大阪)
一般の部 酒巻 照由(栃木)

・詩舞の部

幼年の部 石渡 千紘(愛知)
少年の部 伊藤 修司(愛知)
青年の部 建部 司(愛知)
一般の部 福安 和子(愛知)
一般の部 榎江 功子(愛知)

平成三年年度(第十四回)

・剣舞の部

幼年の部 長坂 紗織(愛知)
少年の部 西邑 敦夫(大阪)
青年の部 伊藤 修司(愛知)
一般の部 大澤 三枝(静岡)
一般の部 尾崎 庄一(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 渡辺 直美(岡山)
少年の部 石渡 千紘(愛知)
青年の部 安藤 由記(愛知)
一般の部 石原 明子(兵庫)
一般の部 松本 房子(兵庫)

平成四年年度(第十五回)

・剣舞の部

幼年の部 栗田 健二(岡山)
少年の部 熊谷 公江(愛知)
青年の部 伊藤 由康(愛知)
一般の部 岡本 達夫(岡山)
一般の部 今泉多美子(佐賀)

・詩舞の部

幼年の部 関みりのり(愛知)
少年の部 長坂 紗織(愛知)
青年の部 大岡 史帆(愛知)
一般の部 中野 寿美子(愛知)
一般の部 中尾 章子(岡山)

平成五年年度(第十六回)

・剣舞の部

幼年の部 山本 亨徳(愛知)
少年の部 山口 育也(愛知)
青年の部 杉浦 裕美(愛知)
一般の部 内山 奈信(香川)
一般の部 小松 武夫(山梨)

・詩舞の部

幼年の部 大野 晶子(愛知)
少年の部 小野 藍子(兵庫)
青年の部 田中 佳子(岡山)
一般の部 平岡 紀彰(茨城)
一般の部 鈴木 敏子(愛知)

平成六年年度(第十七回)

・剣舞の部

幼年の部 多田 翼(大阪)
少年の部 白井ますみ(愛知)
青年の部 原 弦太郎(兵庫)
一般の部 辨天 繁和(奈良)
一般の部 池田 勉(福岡)

・詩舞の部

幼年の部 三宅百合子(岡山)
少年の部 渡辺 直美(岡山)
青年の部 大岡 史帆(愛知)
一般の部 折原寿美子(佐賀)
一般の部 北出 成美(兵庫)

平成七年年度(第十八回)

・剣舞の部

幼年の部 高岡 美和(岡山)
少年の部 長坂 紗織(愛知)
青年の部 安藤 祐嗣(愛知)
一般の部 尾崎 裕美(愛知)
一般の部 榎江 功子(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 長岡 加奈(岡山)
少年の部 関みりのり(愛知)
青年の部 鈴木 一人(愛知)
一般の部 田中 佳子(岡山)
一般の部 大持恵美子(兵庫)

平成八年年度(第十九回)

・剣舞の部

幼年の部 加川 晃一(大阪)
少年の部 山本 亨徳(愛知)
青年の部 熊谷 公江(愛知)
一般の部 建部 司(愛知)
一般の部 林 建紀(高知)

・詩舞の部

幼年の部 鈴木 宏美(愛知)
少年の部 原 歩(岡山)
青年の部 原 弦太郎(兵庫)
一般の部 杉浦 裕美(愛知)
一般の部 寺中トミ江(兵庫)

平成九年年度(第二十回)

・剣舞の部

幼年の部 山本 季和(愛知)
少年の部 伊藤 武(愛知)
青年の部 中神 友佳(愛知)
一般の部 杉浦 裕美(愛知)
一般の部 大倉 敏子(兵庫)

・詩舞の部

幼年の部 三宅 絢子(岡山)
少年の部 岡本 理恵(岡山)
青年の部 荒谷早智子(愛知)
一般の部 見城はるの(静岡)
一般の部 松本 桂子(兵庫)

平成十年年度(第二十一回)

・剣舞の部

幼年の部 深谷 俊文(愛知)
少年の部 天野由希子(愛知)
青年の部 林 季永子(茨城)
一般の部 鈴木 一人(愛知)
一般の部 広田 光次(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 高岡 美恵(岡山)
少年の部 大野 晶子(愛知)
青年の部 長坂 紗織(愛知)
一般の部 星野久美子(徳川)
一般の部 小嶋 公子(京都)

平成十一年年度(第二十二回)

・剣舞の部

幼年の部 加川 将之(大阪)
少年の部 石井 芳典(愛知)
青年の部 西村 朗子(大阪)
一般の部 坂上 晃(兵庫)
一般の部 倉地 清美(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 中川 真生(愛知)
少年の部 鈴木 宏美(愛知)
青年の部 小野 藍子(兵庫)
一般の部 建部 司(愛知)
一般の部 友井川隆子(兵庫)

平成十二年年度(第二十三回)

・剣舞の部

幼年の部 白石 健太(愛知)
少年の部 鈴木 宏美(愛知)
青年の部 長坂 紗織(愛知)
一般の部 上岡 治生(三重)
一般の部 中道 良郎(大阪)

・詩舞の部

幼年の部 服部 幸海(愛知)
少年の部 平田 陽子(岡山)
青年の部 近藤 智美(愛知)
一般の部 山岡 真子(兵庫)
一般の部 橋本 一恵(兵庫)

平成十三年年度(第二十四回)

・剣舞の部

幼年の部 上羽麻子(京都)
少年の部 藤野 舞(福岡)
青年の部 西村 史帆(愛知)
一般の部 美濃部 三重(三重)
一般の部 大岩 行代(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 丸山 愛美(岡山)
少年の部 長坂 理絵(愛知)
青年の部 原 歩(岡山)
一般の部 田中 直美(京都)
一般の部 浅利 健代(岡山)

平成十四年度(第二十五回)

・剣舞の部

幼年の部 桜井 京子(愛知)
少年の部 大野 晶子(愛知)
青年の部 多田 和晃(大阪)
一般の部 新藤 正代(兵庫)
一般の部 稲垣 和子(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 鈴木惠美子(岡山)
少年の部 長岡 加奈(岡山)
青年の部 石渡 千紘(愛知)
一般の部 今藤 真弓(岡山)
一般の部 山名千鶴子(兵庫)

平成十五年年度(第二十六回)

・剣舞の部

幼年の部 神尾 龍(愛知)
少年の部 長坂 理絵(愛知)
青年の部 伊藤 明(愛知)
一般の部 小瀬 眞一(大阪)
一般の部 小久保恵子(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 服部 裕海(愛知)
少年の部 尾崎 美紀(愛知)
青年の部 岡本菜穂子(愛知)
一般の部 美濃部 三重(三重)
一般の部 藤本ヒロミ(兵庫)

平成十六年度(第二十七回)

・剣舞の部

幼年の部 加賀 裕人(愛知)
少年の部 藤野 綾(福岡)
青年の部 伊藤 武(愛知)
一般の部 鈴木 文枝(愛知)
一般の部 加藤 政恵(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 高須 巳嘉(岡山)
少年の部 三宅 絢子(岡山)
青年の部 鈴木 宏美(愛知)
一般の部 上岡 治生(三重)
一般の部 菅原 かよ(東京)

平成十七年度(第二十八回)

・剣舞の部

幼年の部 野中 政利(栃木)
少年の部 早瀬 崇(兵庫)
青年の部 鈴木 宏美(愛知)
一般の部 西原 香(兵庫)
一般の部 玉田 朝子(兵庫)

・詩舞の部

幼年の部 柴田きよ乃(愛知)
少年の部 鈴木惠美子(岡山)
青年の部 大野 晶子(愛知)
一般の部 甲本美智子(岡山)
一般の部 俣野 和子(兵庫)

平成十八年度(第二十九回)

・剣舞の部

幼年の部 入倉慶志郎(愛知)
少年の部 入倉 眸(愛知)
青年の部 松本 典子(愛知)
一般の部 入倉 仁美(愛知)
一般の部 鈴木 文枝(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 長澤 美元(愛知)
少年の部 野々上真由(岡山)
青年の部 堀原いづみ(岡山)
一般の部 奥田 悦代(岡山)
一般の部 今川 由美(兵庫)

平成十九年度(第三十回)

・剣舞の部

幼年の部 長澤 美元(愛知)
少年の部 五月女智仁(栃木)
青年の部 永井 蹟(愛知)
一般の部 安藤 祐嗣(愛知)
一般の部 斎藤 寧子(愛知)

・詩舞の部

幼年の部 篠岡 佳奈(岡山)
少年の部 服部 幸海(愛知)
青年の部 長坂 理絵(愛知)
一般の部 坪田 里美(愛知)
一般の部 杉原 加代(広島)

平成二十一年度(第三十一回)

- ・剣舞の部
 - 幼年の部 友井川 友(兵庫) ⊗
 - 少年の部 服部 幸海(愛知)
 - 青年の部 大野 晶子(愛知)
 - 一般の部 伊藤 由康(愛知)
 - 一般の部 榊原 繁和(奈良)
- ・詩舞の部
 - 幼年の部 松浦 百花(岐阜)
 - 少年の部 丸山 愛美(岡山) ⊗
 - 青年の部 長坂 惠里子(愛知)
 - 一般の部 安藤 祐嗣(愛知)
 - 一般の部 安東 敏子(愛媛)
 - 一般の部 安東 敏子(愛媛)

平成二十二年(第三十三回)

- ・剣舞の部
 - 幼年の部 上岡 隆生(三重)
 - 少年の部 神尾 龍(愛知)
 - 青年の部 長坂 理絵(愛知)
 - 一般の部 長澤 仁美(愛知)
 - 一般の部 中木村 千(兵庫)
- ・詩舞の部
 - 幼年の部 神尾 舞(愛知)
 - 少年の部 柴田 幸乃(愛知)
 - 青年の部 服部 幸海(愛知)
 - 一般の部 堀原 いずみ(岡山)
 - 一般の部 和田 静(和歌山)

平成二十五年(第三十五回)

- ・剣舞の部
 - 幼年の部 石川 姫麗(愛知)
 - 少年の部 神尾 舞(愛知)
 - 青年の部 浦野 佳奈(兵庫)
 - 一般の部 今久保 伸二(奈良)
 - 一般の部 小久保 恵子(愛知)
- ・詩舞の部
 - 幼年の部 柴本 佳乃(愛知)
 - 少年の部 野澤 美裕(東京)
 - 青年の部 見城 真弥(京都)
 - 一般の部 佐治 亜有子(京都)
 - 一般の部 石原 明子(兵庫)
 - 一般の部 稲垣 和子(愛知)

平成二十七年(第三十七回)

- ・剣舞の部
 - 幼年の部 安藤 翔(岡山)
 - 少年の部 上岡 雅治(三重)
 - 青年の部 増井 真高(兵庫)
 - 一般の部 今久保 伸二(奈良)
 - 一般の部 永岡 美智子(岡山)
 - 一般の部 大橋 幸枝(愛知)
- ・詩舞の部
 - 幼年の部 野田 珠華(愛知)
 - 少年の部 安藤 優(愛知)
 - 青年の部 多田 麻衣子(大阪)
 - 一般の部 石渡 千衣(愛知)
 - 一般の部 鈴木 育代(静岡)
 - 一般の部 友井川 睦子(兵庫)

平成二十九年(第三十九回)

- ・剣舞の部
 - 幼年の部 堀 真大朗(愛知)
 - 少年の部 細川 侑子(静岡)
 - 青年の部 白石 健太(愛知)
 - 一般の部 石渡 千衣(愛知)
 - 一般の部 河端 名加子(愛媛)
 - 一般の部 友井川 睦子(兵庫)
- ・詩舞の部
 - 幼年の部 森 凜華(愛知)
 - 少年の部 藤上 綺夏(岡山)
 - 青年の部 堀 咲良(三重)
 - 一般の部 荒谷 早智子(愛知)
 - 一般の部 美濃 智子(三重)
 - 一般の部 安部 敏子(愛知)

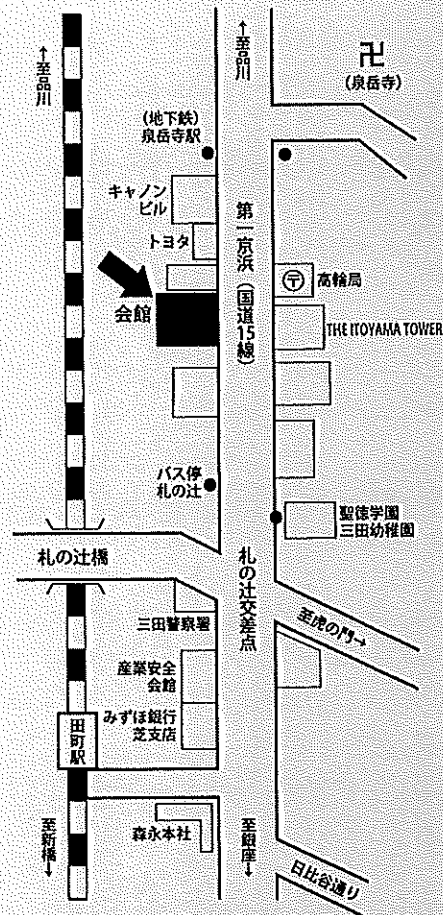
令和元年度(第四十一回)

- ・剣舞の部
 - 幼年の部 水田 菜穂(愛知) ⊗
 - 少年の部 安藤 優(愛知)
 - 青年の部 入倉 真之将(愛知)
 - 一般の部 水井 聡多(愛知)
 - 一般の部 大澤 三枝(静岡)
 - 一般の部 安部 敏子(愛知)
- ・詩舞の部
 - 幼年の部 片山 心結(岡山)
 - 少年の部 柴本 佳乃(愛知)
 - 青年の部 神尾 舞(愛知)
 - 一般の部 小嶋 一勝(京都)
 - 一般の部 西川 ひろ子(京都)
 - 一般の部 井本 勝子(兵庫)

⊗印は、文部科学大臣賞受賞者

令和四年度全国剣詩舞コンクール指定吟題

☆剣舞		☆詩舞	
(幼年・少年の部)		(幼年・少年の部)	
1 桶狭間を過ぐ	大田 錦城	1 応制天の橋立	釈 希世
2 書 懐	篠原 国幹	2 清 明	杜 牧
3 那須与一宗高	松口 月城	3 和歌・ふるさとの	石川 啄木
(青年・一般の部)		(青年・一般の部)	
1 逸 題	山内 容堂	1 赤馬が関舟中の作	伊形 霊雨
2 坂下の歌	項 籍	2 生田に宿す	菅 茶山
3 中 庸	元田 東野	3 漢 江	杜 牧
4 北庄懐古	芳川 越山	4 梅花絶句	土屋 竹雨
5 和歌・吹く風を	源 義家	5 和歌・あさみどり	明治天皇御製



笹川記念会館

〒108-0073 東京都港区三田三丁目12番12号 TEL.03(3454)5062
 (最寄駅) ●JR田町駅(三田口)より徒歩約10分
 ●地下鉄都営浅草線、景岳寺駅より徒歩約7分

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10虎ノ門35森ビル7階
 電話 (03) 6721-5950 (代表)
 FAX (03) 6721-5960